

大分県竹田市

里山保全百年計画

第27回

たけた竹灯籠『竹楽』

【開催期間】 2026年 11月

20日 金
16:00~21:30

21日 土
16:00~21:30

22日 日
16:00~21:00

竹・光・音・出逢い

ちくらく

里山保全百年計画

2026. 

CHIKURAKU

ちくらく

『竹楽』は里山の“100年”先を見つめた町をあげての取り組みです。

大分県竹田市は山林が総面積の65%を占め、そのうち竹林面積は540haです。2万本の竹灯籠を作るのに必要なモウソウ竹の面積は約4ha。わずかな面積でしかありませんが、長い年月(百年)をかけて保全の伐竹作業を継続し、この運動の輪が広がることに願いを込めて竹灯籠に火を灯し続けていきたいと考えています。今年、竹楽は27回目の開催となります。

竹楽は里山の保全と資源の新たな活用をテーマにこれまで様々な分野で取り組みが進んでいます。そのひとつは循環再生的構造(ゼロエミッション)の再生です。竹灯籠は灯籠としての役割を終えると竹炭や堆肥にしてムダなく資源として再利用され、竹楽関連商品による収益は里山トラスト(信託)として「里山保全百年計画」に利用されます。この循環構造を経済再生モデルとして、環境問題と経済の両立をめざしています。



大分県

竹田市



【主催】 NPO 法人里山保全竹活用百人会、竹田市

【協賛】 竹田商工会議所、竹田町商店街振興組合、カメヤマ株式会社、(公社)竹田法人会

日暮れどきは
格別の美しさ！

晩秋の夜、城下町は 竹灯籠で美しく彩られ、
町じゅうに『竹楽』の見どころが点在します。



十六羅漢

愛染堂へと続く階段の灯籠と右手に位置する十六体の羅漢像のシルエットは、竹楽を代表する景観です。



瀧廉太郎記念館

十六羅漢から豊音寺沿いの小路を抜けると瀧廉太郎の旧宅である記念館へ。楽聖に想いを馳せる空間です。



廉太郎トンネル

楽聖瀧廉太郎の旧宅から続く、小さなメロディトンネル。名曲とともに清楚な灯りをお楽しみください。



向丁白壁通り

灯籠の自然な灯りで優しく照らされる旧岡藩御殿医宅の蔵と白壁が象徴的な歴史を感じられる通りです。

ゆっくりお時間をとってお越しください。
町歩きや食事など、お昼から楽しめます。



竹田産食材使用 /

竹楽応援メンチ

食べながら竹灯籠を
巡るのが竹楽の定番！

認定店、スローフード屋台村などで販売します。

「竹楽応援メンチ」の収益の一部が竹楽運営費用に充てられます。



竹田生まれのこだわり

“旨いもん”、大集合。

スローフード屋台村

こちらの屋台村のほか、まちなか各店舗や通り沿いの各出店ブースでもお召し上がり頂けます。



町を包む“静”と“動”、
様々な音の出会い。

豊音寺メインステージ 他

今年も風情ある豊音寺二重門のステージほか
11/22(日)は、『たまりバたけた』において
昼の音楽ステージも開催されます。

あなたも一緒に『竹楽』をつくってみませんか。ボランティアを募集します！



さまざまな工程において、たくさんの人の手が必要です。里山保全活動に興味がある方、イベントづくりに興味がある方、どなたでも大歓迎！
みなさまの参加を心よりお待ちしております。



竹灯籠の点火に
ぜひご参加ください！

晩鐘を合図に…

16:00 点火

初日は15時30分より「十六羅漢広場」でオープニングセレモニーを行います。そのあと、**晩鐘を合図に竹灯籠へ点火。**
“マイ・チャッカマン”をご持参の方は竹灯籠への点火にご参加いただけます。

■「観光・宿泊先」について

観光情報サイト

“たけ旅”を
チェック



◎期間中、シャトルバスを運行。

『竹楽』期間中は **16時～21時30分までシャトルバスを運行**します。
※『竹楽』会場内では15時～22時まで(一部17時より)交通規制が行われます。

利用料金：往復・片道 高校生以上 500円・小中学生 200円

◎専用駐車場をご利用ください。

車でお越しの方は「竹田市役所」・「竹田市総合運動公園」・「竹田中学校(土・日のみ)」・「竹田市総合ホール グランツたけた(土・日のみ)」を駐車場としてご利用ください。

※駐車場は誘導員の指示に従ってご利用ください。

★混雑回避にJRが便利！※臨時列車
豊後竹田駅発 大分行き
21時台増便



■「竹楽」ボランティア参加について

NPO 法人里山保全竹活用百人会

竹田市大字会々 2335-1 (JR 豊後竹田駅構内)
tel : 0974-63-2638

